

発掘速報展

山口

# 発掘された郷土山口

平成11年12月4日(土)▼12年1月9日(日)  
山口県立萩美術館・浦上記念館



## ごあいさつ

平成11年度新発見考古速報展「発掘された日本列島'99」(中核展示)とあわせて開催いたします「発掘された郷土山口」(地域展示)は、県内におけるこれまでの重要な出土品とともに最近の主な発掘資料を展示し、広く埋蔵文化財の保護と活用について理解を深めていただくことを目的とするものであります。

本州の西端に位置し、古来、大陸との文化交流の門戸として開かれた当県には、さまざまな遺跡の所在が知られておりますが、開発に伴って毎年その多くが発掘調査され、新たな成果が追加されています。

これらは、いずれも郷土の歴史や先人の生活の様相を正しく認識する上で不可欠の資料であり、現代に生きる私たちが将来に向けて大切にまもり伝えて行くべきかけがえのない貴重な遺産といえます。

この機会に全国から集められた中核展示品とともに、郷土山口の歴史的遺産の数々を存分にご鑑賞いただければ幸いです。

おわりに、この展覧会を開催するに当たり、出品等のご協力をいただきました各機関並びに関係者の皆様にたいし厚くお礼申し上げます。

平成11年12月

山口県教育委員会 教育長 牛見 正彦

山口県立萩美術館・浦上記念館 館長 足立 明男

## 記念講演会

12月5日(日) 13:00～15:00

「飛鳥池工房と富本銭—古代の銅生産をめぐる—」

松村恵司 奈良国立文化財研究所室長

12月25日(土) 13:00～15:00

「考古学ファンに贈るダイナミックヒストリー」

中村徹也 山口県埋蔵文化財センター所長

## ギャラリーツアー

12月5日(第1回のみ)・12・19・26日(日)

1月9日(日)

第1回11:00～12:00 第2回14:00～15:00



山口県立萩美術館・浦上記念館

HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074山口県萩市平安古586-1 TEL 0838-24-2400 FAX 0838-24-2401



## 自然の恵みの中で(旧石器時代)

旧石器時代の終わり頃の遺跡が宇部の洪積台地などで発見されています。遺跡からは、狩猟や調理などに用いるさまざまな形の石器が見つかりました。石器のつくり方には、瀬戸内地方に特有な方法と九州地方に特徴的な方法の両方がみられ、両地域にはさまれた山口県の地理的特性をよくあらわしています。



雨乞台遺跡・ナイフ型石器、細石刃(小野田市歴史民俗資料館提供)

## 生活の場の広がり(縄文時代)



梶栗浜遺跡・深鉢(下関市立考古博物館提供)

梶栗浜遺跡(下関市)下層出土の縄文土器は煮炊きによく用いる深鉢です。器の表面には貝殻で調整したあと(貝殻条痕)がみられます。吉永遺跡(豊浦町)出土の土偶は、顔と下半身の部分を欠けていますが、女性であることを示す胸や下方に弓なりに曲げた腕の部分がよくわかります。石鏃は、主に下関方面一帯に広く産する赤色頁岩を打ち欠いてつくられており、土掘り具などに使われたものとみられています。三角原遺跡(美東町)出土の球状耳飾は硬玉製で、当時石材を得るため遠隔地との交易活動が行われていたことや、縄文人の優れた

おしゃれ感覚の一端を示す資料です。石鏃や釣針、石錘などは、縄文時代の人々の主な生業であった狩猟や漁労に欠くことのできない道具です。



吉永遺跡・土偶(山口県埋蔵文化財センター提供)

## 弥生人の多様な生活

弥生時代前期には、響灘沿岸地域を中心に、貝殻でつけた華やかな文様をもつ土器がつけられます。この地域では、朝鮮半島からもたらされた青銅器も出土しています。梶栗浜遺跡から出土した細形銅剣や多鈕細文鏡はその代表的な例です。沖ノ山遺跡(宇部市)出土土器は、朝鮮系無文土器の流れをくむもので、中に入っていた中国の半両銭や五銖銭などの銭貨とともに、当時の壮大な交流を示す資料といえます。土井ヶ浜遺跡(豊北町)から出土した人骨は、弥生時代に大陸からの移住が行われた可能性を示す資料として知られています。出土した腕輪や貝製装身具類は、南方系の貝を用いてつくられており、この方面との交流も盛んに行われていたことを示すものです。宮ヶ久保遺跡(阿東町)出土の木製の動物は、当時の人々の精神活動を知る手がかりとなる数少ない資料です。吉永遺跡出土の



梶栗浜遺跡・銅剣、銅鏡(下関市立考古博物館提供)



土井ヶ浜遺跡・人骨出土状況(山口県埋蔵文化財センター提供)

船形土製品は、紡錘形の船底上に舷側板が明瞭に表現されており、準構造船の特徴をよく示しています。人々が海をかけめぐり、さまざまな地域との交流を行っていたようすをイメージさせる資料です。



宮ヶ久保遺跡・木製動物(山口県埋蔵文化財センター提供)



吉永遺跡・船形土製品(山口県埋蔵文化財センター提供)



## 古墳をつくった時代

4世紀頃に築造された県内の有力な古墳からは、大和政権から配布されたとも考えられている三角縁神獸鏡などの大型鏡が出土しています。なかでも竹島古墳(新南陽市)出土の三角縁神獸鏡の一面には中国・魏の「正始(240~249)」の年号がみられ、邪馬台国の女王卑弥呼の遣使に関わる時期の資料として注目されます。茶臼山古墳(柳井市)出土の麗竜鏡は、直径が約45cmで、古墳時代の鏡としては国内最大であり、被葬者の権力の大きさを示しています。高野遺跡(下関市)の竪穴住居跡から出土した竈は、置き竈(移動式)としては県内最古級とみられる6世紀前半頃のもので、円光寺古墳(萩市)出土の太刀の環頭柄頭3点や片山古墳(防府市)出土の鉄地銀張りの杏葉、塚塚横穴墓群(長門市)出土の銅製壺鏡は、古墳時代の優れた工芸技術を示す資料です。



茶臼山古墳・麗竜鏡(柳井市教育委員会提供)



国森古墳・主体部遺物出土状況(田布施町教育委員会提供)



円光寺古墳・太刀環頭柄頭(萩市教育委員会提供)

## 銅の生産と鑄銭



長登銅山跡・木簡(美東町教育委員会提供)

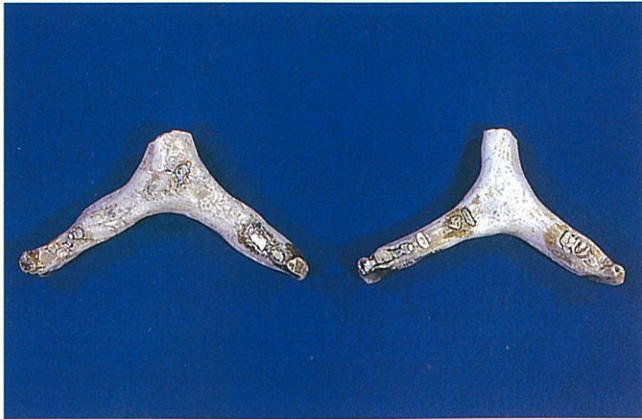
山口県は古くから良好な銅生産地として知られていました。特に長登銅山跡(美東町)は、最近の科学的な分析により、東大寺大仏鑄造の原料を供給したことが判明しています。また、近年の発掘調査により、精錬炉や木簡・鑄型などが発見され、精錬施設も併せもつ官営工房跡であることが明らかになりました。一方、豊富な原料をもとに長門国府(下関市)には官営の鑄銭所が設けられました。長門鑄銭所跡から出土した和同開珎や銭範・坩堝・鞴(国・重要文化財)は、国内初期の鑄銭の実態を知る上でたいへん貴重な資料といえます。最近、中村遺跡、国秀遺跡(ともに秋芳町)から、長登銅山跡にさかのぼる時期の精錬銅の塊が発見されており、県内の銅鉦採掘、精錬がさらに古くから行われていたことが明らかになってきました。



長門鑄銭所跡・和同開珎銭範(下関市立長府博物館提供)



## 古代の役所と寺



東禅寺・黒山遺跡・緑釉付着三叉トチン(山口県埋蔵文化財センター提供)

見島ジーコンボ古墳群(萩市)では、被葬者の身分を示す銅製・石製銚帯のほか、蕨手刀・刀・鎌などの鉄器、硬玉製勾玉やガラス小玉などの装身具、土器類など多量の副葬品が発見されました。これらの出土品は、この古墳群の性格や当時の社会を理解する上で重要な鍵となるものです。山口県では緑釉陶器の生産も行われていました。東禅寺・黒山遺跡(山口市)から出土した三叉トチン(陶磁器を焼くとき間にはさ



下岡田遺跡・土馬(山口県埋蔵文化財センター提供)

む台)には緑釉が付着していました。この地域で緑釉陶器の生産が行われた証として、たいへん大きな意味をもつ資料です。荒人遺跡(油谷町)から出土した土豚や下岡田遺跡(豊浦町)から出土した土馬は、雨乞いなどのまつりに用いられたものとみられ、当時の人々の祈りの一端を示す資料と考えられます。

## 中世の民衆と城館



妙徳寺山経塚・遺物出土状況(山口県埋蔵文化財センター提供)

古代末期から中世にかけて、末法思想を背景として、県内各地で経塚がつくれます。井上山経塚(防府市)や妙徳寺山経塚(山陽町)から出土した経筒(経文の容器)や、ともに納められた品々から、救いを求める人々の真剣な願いを知ることができます。中世山口は、大内氏の拠点として「西の京」といわれるほどの繁栄をみせていました。大内氏館跡(山口市)から出土した土師器(かわらけ)には、やや厚手の京都系のもものと薄手の在り地系のもものとがあります。出土品には中国からもたらされた明代の陶磁器なども多数あり、貿易を通じて巨大な経済力と権力を手に入れた大内氏の栄華の一端を示しています。下右田遺跡(防府市)は県内最大級の中世集落跡です。出土した土器類には、山口県を中心に分布する足鍋や挿鉢、こね鉢、土師器の杯や皿などがあり、当時日常生活に使われた土器の組み合わせがよくわかります。



大内氏館跡・土師器皿(山口市教育委員会提供)



下右田遺跡・足鍋出土状況(山口県埋蔵文化財センター提供)



## 長州藩の時代

萩焼古窯跡群(萩市)では、発掘調査により窯の構造や焼かれた品々が明らかになっています。なかでも坂1号窯は現在知られる萩焼最古の窯跡であり、出土した碗や皿などは萩焼のルーツを明らかにする上で重要な意味を持つ資料といえます。萩城跡(外堀地区)では、堀を埋め立ててつくられた町並みから、多量の遺物が出土しました。ゴミ捨て穴からみつかった鯨の骨は捕鯨に関わりの深い当地域の特徴をあらわしています。キセルやかんざし、小柄などの金属製品からは当時の高い工芸技術を知ることができます。木製品には漆碗や曲げ物、下駄や箒、木筒(荷札)など多様な品があり、当時の日常生活をかいま見ることができます。高杉晋作らの組織した奇兵隊の陣屋跡(下関市)からは、奇兵隊が使用していた銃弾や茶碗類が発見されました。特に磁器碗には、



坂1号窯・窯跡全景(山口県埋蔵文化財センター提供)

見込みに「奇」字を記したものが数点発見されており、奇兵隊の特注品ではないかとみられます。



萩城跡・豆板銀(山口県埋蔵文化財センター提供)



奇兵隊陣屋跡・「奇」字銘磁器碗(山口県埋蔵文化財センター提供)

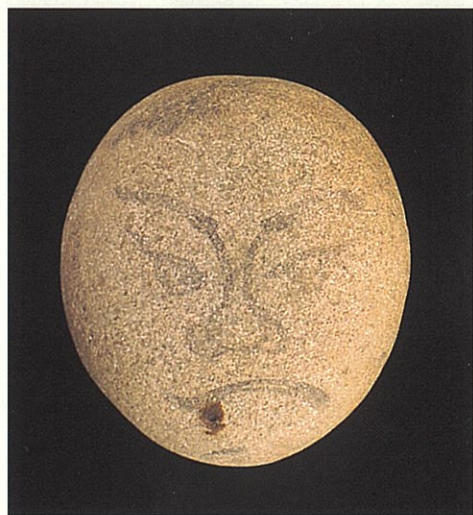
## 顔・顔・顔

綾羅木郷台地遺跡(下関市)出土の<sup>じんめんどせいひん</sup>人面土製品(表紙左)は、頬の部分に貝殻の腹縁で押刻して、弧を重ねた入墨を表現しており、弥生時代の習俗を知る上で貴重な資料です。<sup>みょうじ</sup>明地遺跡(田布施町)から出土した<sup>ふんどうがたどせいひん</sup>分銅形土製品(表紙右)は、山口県や愛媛県などに多くみられる四角い形をしたもので、この種のものとしては全国でも最大級です。何らかのまつりに



赤妻遺跡・人面土製品(山口県埋蔵文化財センター提供)

使用するものと考えられており、多くは意図的に中央で二つに割られた状態で出土します。粘土紐で表現された眉から鼻、半裁した竹管状の工具でつけた目や口がにこやかでユーモラスな表



周防国府跡・人面墨書石(防府市教育委員会提供)

情をあらわしています。<sup>すおうこくふ</sup>周防国府跡(防府市)から出土した<sup>じんめんぼくしよいし</sup>人面墨書石は奈良時代のもので、<sup>えんれき</sup>円盤の両面にやや硬い表情の人面が、墨で簡略に表現されています。

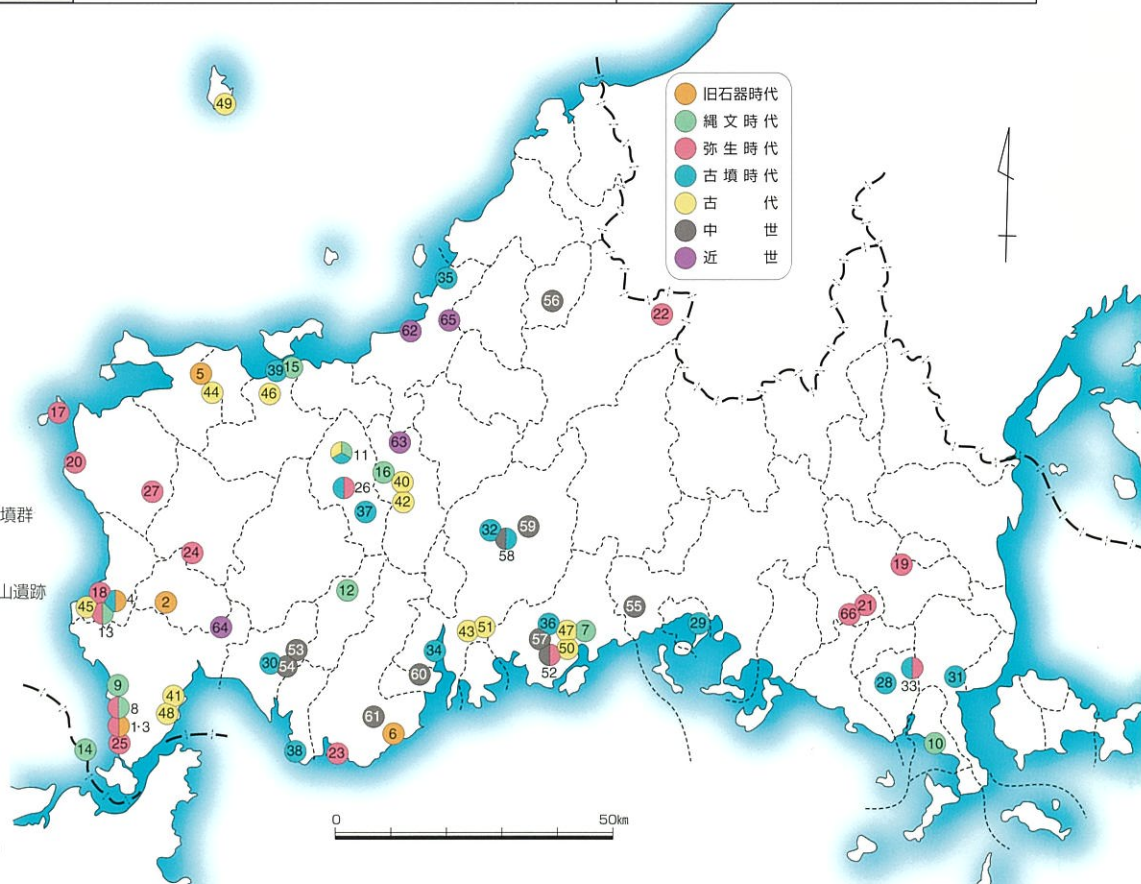


# 山口 考古年表

年 代	時 代	展示品を中心とした主なできごと	展 示 遺 跡 名
約100,000年前 約13,000年前	旧石器	山口県に人が住み始める ナイフ型石器や石斧の使用 土器・石鏃の使用	綾羅木郷遺跡(下関市) 長樹遺跡(宇部市) 高野遺跡(豊浦町)
約2,400年前	縄文	石鏃の使用	三角原遺跡(美東町) 梶栗浜遺跡(下関市) 神田遺跡(下関市) 吉永遺跡(豊浦町) 岩田遺跡(平生町)
紀元(約2,000年前)	弥生	稲作の開始 金属器の使用開始 響灘沿岸の砂浜に墓がつくられる	沖田遺跡(豊北町) 中ノ浜遺跡(豊浦町) 綾羅木郷遺跡(下関市) 土井ヶ浜遺跡(豊北町) 宮ヶ久保遺跡(阿東町) 沖ノ山遺跡(宇部市) 地藏堂遺跡(下関市) 吉永遺跡(豊浦町) 華山山頂(豊田町)
300年	古墳	古墳の築造がはじまる	国森古墳(田布施町) 竹島古墳(新南陽市) 長光寺山古墳(山陽町) 茶臼山古墳(柳井市) 円光寺古墳(萩市) 高野遺跡(豊浦町) 塚塚横穴墓群(長門市)
500年		横穴式石室がつくられる 横穴墓がつくられる	
700年		飛鳥 奈良	
1,000年	古代 平安	寺院の造営はじまる 国府がおかれる 採銅・鑄銭がおこなわれる 緑釉陶器がつくられる	長登銅山跡(美東町) 長門国府跡・国分寺跡(下関市) 周防国府跡・国分寺(防府市) ジューコンボ古墳群(萩市) 東禅寺・黒山遺跡(山口市)
1,200年	中世 鎌倉 南北朝 室町	経塚がつくられる	物見山経塚(山陽町) 日尾山(徳山市)
1,400年		大内氏館がつくられる	岡田・江良遺跡(むつみ村) 下右田遺跡(防府市) 赤迫遺跡(阿知須町) 大内氏館跡(山口市)
1,600年		安土桃山 江戸	萩城がつくられる
1,900年	近代	奇兵隊陣屋がつくられる	

## 展示品出土遺跡

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1 綾羅木郷遺跡   | 34 大浦3号墳       |
| 2 山ノ口遺跡    | 35 円光寺古墳       |
| 3 綾羅木郷台地遺跡 | 36 片山古墳        |
| 4 高野遺跡     | 37 松ヶ迫遺跡       |
| 5 雨乞台遺跡    | 38 本山海岸        |
| 6 長樹遺跡     | 39 塚塚横穴墓群      |
| 7 大將軍遺跡    | 40 長登銅山跡       |
| 8 梶栗浜遺跡    | 41 長門鑄銭所跡      |
| 9 神田遺跡     | 42 平原第2遺跡      |
| 10 岩田遺跡    | 43 周防鑄銭司跡      |
| 11 国秀遺跡    | 44 荒人遺跡        |
| 12 上原田遺跡   | 45 下岡田遺跡       |
| 13 吉永遺跡    | 46 長門深川鹿寺跡     |
| 14 六連島遺跡   | 47 周防国分寺       |
| 15 白淵遺跡    | 48 長門国分寺跡      |
| 16 三角原遺跡   | 49 見島ジューコンボ古墳群 |
| 17 沖田遺跡    | 50 周防国府跡       |
| 18 中ノ浜遺跡   | 51 東禅寺・黒山遺跡    |
| 19 河池遺跡    | 52 井上山経塚・井上山遺跡 |
| 20 土井ヶ浜遺跡  | 53 物見山経塚       |
| 21 天王遺跡    | 54 妙徳寺山経塚      |
| 22 宮ヶ久保遺跡  | 55 日尾山         |
| 23 沖ノ山遺跡   | 56 岡田・江良遺跡     |
| 24 華山山頂    | 57 下右田遺跡       |
| 25 地藏堂遺跡   | 58 赤妻遺跡        |
| 26 中村遺跡    | 59 大内氏館跡       |
| 27 甲殿遺跡    | 60 赤迫遺跡        |
| 28 国森古墳    | 61 下請川南遺跡      |
| 29 竹島古墳    | 62 萩城跡(外堀地区)   |
| 30 長光寺山古墳  | 63 銭屋遺跡        |
| 31 茶臼山古墳   | 64 奇兵隊陣屋跡      |
| 32 天神山古墳   | 65 萩焼古窯跡群      |
| 33 明地遺跡    | 66 追迫遺跡        |



主 催 / 文化庁、山口県教育委員会、山口県立萩美術館・浦上記念館  
 特別協力 / 朝日新聞社  
 後 援 / 日本放送協会、YAB山口朝日放送、KBC九州朝日放送